

## 平成28年1月から3月及び28年度の議員活動

平成28年1月1日～平成29年3月31日の主な事項について報告します。

### 1 本会議等

・平成28年3月議会において、平成28年度の予算審議の中で新電力会社設立のための出資金の提案について、新電力会社の内容が不確定であり、採算性、継続性、仮に赤字となったときの対応、市民サービスの内容、自主財源の確保など十分でないことなどの理由から継続して検討してほしいということで、議会が全員一致で、予算案の修正がなされました。

平成29年3月議会において、新政会の代表質問で、その後の対応について質問しましたが、本市にとってメリットのある仕組みを再構築したいとの考えを示されましたが、一年経つのに結論が出てないようです。平成28年3月の議会の指摘は正しかったようです。

・平成29年度3月議会の新政会の代表質問及び予算委員会で「学校施設の屋根を活用した太陽光発電事業」について質しました。この事業は、民間事業者が学校の体育館の屋根に太陽光発電装置を設置許可し行う事業で、事業期間は20年間に及ぶもので、契約終了時には撤去費や処分費がかかり、採算性、継続性や危険性の問題を含んでおり、改めて、平成29年4月6日(木)に議会の全員協議会で審議することになりました。

### 2 委員会等

産業建設委員会及び宇部市創生総合戦略特別委員会においては、「中央町3丁目地区」のまちづくりについて活発な議論が交わされています。「(仮称)こどもプラザの建設」については、旧河長跡地を活用する案が進められようとしていたが、候補地の権利者の意向により取りやめ、とりあえず「多世代ふれあいセンター」(旧「シルバーふれあいセンター」を改称)の一部を活用するということになりました。私としては、その判断はよかったと思います。また、今後は「中央町まちづくりコーディネート業務の報告書」により進められようとしていますが、報告書のまとめがどのように進められて行こうとされるか不明瞭であり、まちづくり会社「にぎわい宇部」では違う案もあるとされるので、市としては、にぎわい宇部としっかり意思疎通を図られ進められるよう要望しました。

### 3 その他の主な活動

#### (1) 個人住民税の現年課税化について

平成27年6月定例会一般質問で「市県民税の国による一括処理」についての提案をしました。その後、進展がなく、平成28年8月25日

に私の所属している新政会の議員さんと一緒に林芳正参議院議員さんに検討できないか依頼しました。林先生は、自民党の税制調査会の副会長でもあり、関係者による勉強会を立ち上げていただきました。以来、私も参加させていただき、5回の勉強会で検討を続けています。

現在、政府においては「働き方改革」に取り組んでおられますが、この改革においても、個人住民税の現年課税化は重要な問題になるのではないかと考えています。

(2) 東京大学主催の「チャレンジ！！オープンガバナンス2016」へのコンテスト参加

国や地方自治体が持っているデータを活用し、地域課題を解決するコンテストであるオープンガバナンス2016に西岐波の自主防災会の有志と一緒にTEAM西岐波として「ICTを使った災害対応システム」でコンテストに参加しました。

これは、平成28年6月定例会一般質問で「災害時における体制について」で提案したICT技術を使ったコンピュータ処理による災害対策の実現に向けた取り組みで、コンテストに応募した内容は、全国で統一した災害対応システムを構築し、災害が発生した地域の避難所にICT端末またはスマートフォンを持ち込み、システムが要求する避難者の状況など、災害発生状況を入力することで、関係機関が同時に必要な情報を入手でき、災害対応が迅速かつ横断的・多重的に処理できるのではないかと提案です。また、宇部市には、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の研究拠点も置かれるので、全国組織を立ち上げられないかという提案でしたが、最終公開審査に進めず残念でした。

(3) 市営バスの丸尾港線の存続について

平成29年9月末日をもって廃止決定になっていた丸尾港線について、地元住民からの強い存続要望に対応するため、東岐波及び西岐波地区の市議会議員さんと一緒に交通局と協議を重ねた結果、運行便数を削減するものの利用人数が見込める時間帯の運行を確保することになりました。しかし、今後の運行結果により、廃止になる可能性があるため、利用促進を今後考えていかななくてはなりません。できるだけ自動車ではなくバスを利用した移動にご協力ください。

(4) 相談業務

この15か月間で73件の相談がありました。困ったことは何でも相談してください。